



～団体戦、おもしろっ～

校長 三田和弘

克己坂のあじさいが、梅雨空の中さわやかに咲き誇っています。

5月の終わりの3日間、3年生は修学旅行に行ってきました。旅行中感心したのは、何度も繰り返した集合時間が当たり前のように守れたことです。当たり前のことが当たり前になってこそ、楽しい旅行となります。日常の学校生活の成果が表れた場面でした。



さて、6月24日(土)より、中体連地区大会が実施されています。

19日(月)の激励会では、1・2年生からの大きな激励を受け、最後の大会に向けて各部とも力強く意気込みを發表しました。

私は野球大会の担当で、観戦しました。そのチームは、部長がエースとしてマウンドに立っていました。多くの1年生が入部し守備が不安定な中での力投でした。一度は4点差をつけられるものの、粘り強く戦っていました。球数制限のため一度は降板したが、彼は勝負所の6回1アウトから残り25球で再登板しました。相手の中軸を押さえ、チャンスを摘み取りました。そしてついにその裏、自らのバットで同点に追いつきました。チームの雰囲気は最高潮であると感じました。しかし、延長戦に入った8回味方のエラーから失点が始まり、力尽きてしまいました。部長として本部にあいさつに来た彼は、真っ赤な目を腫らしていました。走攻守に、またチームの中心としてプレーした彼に「ナイスゲーム。」と心から声を掛けました。



もう一つ心に残った出来事がありました。男子ソフトテニス大会での出来事です。天城中チームの3位は確定していましたが、県大会出場をかけて長岡中と戦いました。長岡中とは、この日のリーグ戦で一度は思わぬ負けに屈していました。しかしその後のゲームでチームを立て直し、3位を決めました。そして勝負の県大会出場決定戦、顧問の江川先生はもちろんのこと、多くの保護者や教頭先生、橋本先生、大村先生も見守る中、2対1で勝利を収めました。県大会への出場機会を勝ち取ったことは生徒たちにとって大変貴重な経験で、素晴らしいことです。もっと嬉しかったのは、その後、

私のところにあいさつに来てくれたときのことです。3年生の一人が「団体戦、おもしろっ。」とつぶやきました。彼は自身がそうつぶやいたことを覚えているかは分かりません。しかし、3ペアによる勝負の団体戦であるにもかかわらず、団体戦の面白さを実感した彼の言葉に、温かな気持ちが込み上げました。みんなで練習してきたことや一人一人が全力でプレーできたこと。仲間を応援したことやみんなで勝利を収めたこと。さまざまな体験をもとに出た一言なのだろうと実感しました。

どのことから感じることは、一生懸命は素晴らしいということです。結果は必ずしも思い通りにならないこともあると思います。むしろ思い通りにならないことの方が多いかも知れません。しかし、一生懸命に取り組んだ先には、やった人にしか体感できない大きな財産があるのだろうと強く感じる出来事でした。学校生活の中でこのような体験ができるよう努めていきたいと思っています。



第1回学校運営協議会が開催されました。

学校も、地域も元気に！～コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことをいいます。学校運営協議会とは、教育委員会から任命された地域や保護者のみなさまが学校運営について協議し、学校の様々な課題に責任をもって参画する組織です。学校・家庭・地域が互いに信頼し合い、それぞれの立場で地域の子どもたちの成長を支えていく学校づくり、さらには地域コミュニティづくりを進めていくことが、コミュニティ・スクール制度のねらいです。



伊豆市では、土肥小中、修善寺南小、修善寺東小、熊坂小がコミュニティ・スクールとして活動しています。今年度からは、市内の全小・中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしての取り組みをスタートさせました。

本校においても、社会福祉委員、市議会議員、主任児童委員、PTA代表の委員のみなさまをお招きし、6月15日（木）に令和5年度の第1回学校運営協議会を開催しました。

校長から今年度の学校経営方針や教育計画について説明、さらに委員のみなさまから貴重なご意見をいただき、承認を得ました。

校長先生が・全校生徒と面談。

生徒はどんな夢をもっているかな？全校生徒一人一人と話をし聞いてみたい。生徒は嫌かな？緊張するかな？といった職員室での会話から、校長先生による全校生徒面談が決まりました。読書の時間、2名ずつ出席番号順に3年A組から始まっています。保護者の方からも、校長先生とお子さんがどんな話をしたか、ぜひ聞いてみてください。

三田校長が赴任し、3ヶ月が経ちます。校長は、卒業生として母校である天城中学校への思い入れがあり、後輩である生徒への愛情が大きいです。また、お子さんが通っていた天城中学校に、保護者の立場として感じてきたことを学校経営に取り入れ教育を考えています。そして地域の立場から、天城地区全体のことを考え、次世代で活躍する子どもたちの育成を目指しています。

見せつけろ天城中魂!! < 中体連夏季大会 >



保護者のみなさまの部活動へのご理解とご協力があったからこそ、この大会を迎えることができます。感謝申し上げます、ありがとうございます。3年生のためにできること！1・2年生も、激励会では大きな声でエールを送っていました。

いよいよ3年生にとっては最後の大会となる、中体連夏季大会が24日（土）より開催されています。どの部も多く練習試合を行い、自分の力や技能の精度を高めるために頑張ってきました。放課後の音楽室から

はコンクールに向けた吹奏楽部の音色も響いてきます。また、外部で活動し出場する柔道、剣道、ソフトテニス、の活躍も期待できます。

保護者の観戦については、制限がありません。生徒が友達の応援に行く際の服装は、制服かジャージとなります。応援マナーをしっかりと守り、大会を盛り上げてほしいと思います。各部の大会結果は7月号に記載いたします。

